

ひたすら研鑽を重ね、休むことなく電話を受ける

2022年度事業計画 社会福祉法人佐賀いのちの電話 (令和4年度)

1、 当法人を取り巻く環境

今、新型コロナウイルス感染症との闘いの中で、社会生活が大きく変わろうとしています。このような状況において、私たちのいのちの電話が果たしていく役割がますます重要になっています。それは、いのちを大事にするという、人としての原点に関り、地道な相談活動を続けていくことにあります。

先の見えない状況の中、新年度は相談員ひとり一人の健康・安全を第1に、いのちの電話の運営・活動をしっかり維持するよう努めます。 コロナ禍の進展により、コーラーさんからの相談内容はより深刻より多様化してまいりました。それに対応する相談員の知識や態度、技能の向上が求められています。ステップアップ研修や全体研修、班研修、個人スーパービジョンを通じて、相談員の資質の向上に力を入れます。

2、 重点活動への取り組み

(1) 新規相談員確保へ

- ・カウンセリング公開講座及び相談員養成講座の2講座（土曜班、水曜班）実施
- ・新聞各社、市町広報に加え、県内ケーブルテレビ各社に募集告知を依頼
- ・募集チラシ設置場所の拡大を図ります。

(2) 相談員のスキルアップ

- ・班研修、個人スーパービジョン、全体研修会の実施
- ・経験年数ごとのステップアップ研修
- ・相談員のケアサポート

(3) 「空きコマ」の解消

- ・「深夜帯」の空きコマ解消へ相談員の協力を引き出します。
- ・ホームページの当番表閲覧の周知を徹底し、空きコマの解消を図っていきます。
- ・相談員の意見を聞きながら、当番に入りやすい仕組みや工夫を行います。
- ・毎月のフリーダイヤル、毎日フリーダイヤルの充足率向上を目指します。

(4) ホームページリニューアル

- ・ホームページを常に更新し、充実させます。
- ・街頭キャンペーンや出前講座、リーフレットなど広報媒体を通じて、自殺予防「いのちの電話」活動に対する市民の理解を求めます。

3、 リモート会議、研修の環境整備

- ・役員・相談員合同総会の拡充を図ります。
- ・リモート会議、研修の推進
- ・事務局業務の改善

4、 財政基盤の充実強化

- ・財政の安定を図るために、法人・団体を組織化する（維持会員）。
- ・講演会、音楽会、映画界、バザー等のチャリティーイベントを企画・開催します。
- ・佐賀県のふるさと納税交付（NPO等）サイトの佐賀いのちの電話のPRに力を入れ、いのちの電話への寄付の大幅増を目指します。
- ・企業・団体の各種民間助成金の申請を行います。

5、 新型コロナウイルス対策

- ・相談員に自己管理の徹底を求めます。
- ・当番者のマスク着用や手指消毒、机・電話器の消毒、検温の励行
- ・「三密」を避けるため、各委員会、班研修は外部施設を活用します。
- ・電話室の安全・安心のため、対策を講じます。